



除雪サービスの利用者負担の減免を求める陳情書

2020年12月24日

当別町長 宮司 正毅 様

当別生活と健康を守る会 代表 藤岡 克正

陳情事項

1. 除雪サービスの利用に当っては、生活保護利用世帯は無料とすること。
2. 同、町民税が非課税又は均等割のみの世帯は、現在の一冬7,000円を半額以下にすること。
3. 除雪サービスに当っては、暖房の吸排気管のまわり等、危険を除去するために、柔軟に対処すること。

陳情理由

安倍前内閣のもとで、生活保護費は2013年と2018年の2度にわたる切り下げで最大15%削減されました。生活保護利用世帯の生活は困窮の度を深めています。特に、食費を削るために1日3回食べない者もいます。このような状況下で、除雪サービス利用料の一冬3,000円は大きな負担となっております。

当別町では約220世帯が生活保護を利用しております。捕捉率を20%としても約1,000以上の困窮世帯があることとなります。町民税の非課税又は均等割のみの世帯の利用料軽減が切実な願いとなっております。

除雪サービスに関して、札幌市を含む石狩管内3市1村の隣接自治体の生活保護利用者の負担について調べました。札幌市、江別市は規則で無料です。石狩市は、町内会の助け合い事業の一環として位置づけ、市が町内会に助成する仕組みを作り、利用者の負担はありません。新篠津村は、村直営で除雪サービスを行っており、除雪困難世帯はいずれも無料でした。

隣接市及び村は、いずれも生活保護利用世帯の負担はなく、当町だけが有料となっております。

以上の事情に鑑み、前記事項が実現しますようお願い申し上げます。